

授業科目	*看護形態機能学Ⅱ				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11102J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	笹月 桃子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>看護師として社会の人々の健康の保持と増進を目指し、病を抱える人の日常生活を支える役割を果たすためには、人間の身体の機能および、身体に生じている病態を理解した上で、その身体に適した援助を実践することが重要です。看護形態機能学では、一年間を通じて器官(臓器)系統別にだけでなく、日常生活の行動から身体を把握する視点を通して、人体の構造と機能についての理解を深め、看護に必要な基礎的な知識を習得することを目的としています。後半の『看護形態機能学Ⅱ』では、身体の運動、情報処理、免疫、生殖、発生に関わる人体の形態と構造、その正常な生体機能について解説します。また、一年を通じ学んだ知識を深めるために、解剖実習の見学を行います。</p> <p>実務家教員として、25年余高次機能病院の医師として勤務した経験を通じ、仲間と共に知識を元に命(生と死)について考える機会を設けます。医療専門職として今後人の命に対峙することになる際の最初の礎・道標を得て本科目を修了することを期待します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 身体の支持と運動について説明できる 2 情報の受容と処理について説明できる 3 外部環境からの防御について説明できる 4 生殖・発生と老化のしくみについて説明できる 5 体表から見た人体の構造について説明できる 6 解剖実習見学を通じ、紙面で学んだ知識の理解を深め、主な人体の器官の構造と機能について説明できる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	40	10	10				60	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20	10	10				40	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
身体の形態と機能の知識と、現場における看護とケアの実践の関連を理解することができる。				身体の形態と機能の基礎的な知識を身に付ける。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:内臓機能の調節(1) 自律神経による調節	講義 以下、講義は基本的に、遠隔講義と対面講義を交互に行います。	当該部分の予習と復習	60
2	テーマ:内臓機能の調節(2) 内分泌系(ホルモン)による調節	講義	当該部分の予習と復習	60
3	テーマ:内臓機能の調節(3) 視床下部一下垂体系	講義	当該部分の予習と復習	60
4	テーマ:内臓機能の調節(4) 甲状腺ホルモン・副腎皮質ホルモン・副腎髄質ホルモン	講義	当該部分の予習と復習	60
5	テーマ:身体の支持と運動(1) 骨格と筋(体幹、上肢)	講義	当該部分の予習と復習	60
6	テーマ:身体の支持と運動(2) 骨格と筋(下肢・頭頸部)	講義	当該部分の予習と復習	60
7	テーマ:身体の支持と運動(3) 上下肢の運動	講義	当該部分の予習と復習	60
8	テーマ:身体の支持と運動(4) 筋肉の収縮	講義	当該部分の予習と復習	60
9	テーマ:情報の需要と処理(1) 神経系の構造と機能	講義	当該部分の予習と復習	60
10	テーマ:情報の需要と処理(2) 脳の高次機能	講義	当該部分の予習と復習	60
11	テーマ:情報の需要と処理(3) 運動機能と感覚機能の伝導路	講義	当該部分の予習と復習	60
12	テーマ:情報の需要と処理(4) 眼の構造と視覚	講義	当該部分の予習と復習	60
13	テーマ:情報の需要と処理(5) 耳の構造と聴覚・平衡覚	講義	当該部分の予習と復習	60
14	テーマ:情報の需要と処理(6) 味覚・嗅覚・疼痛、(1)～(5)の復習	講義	当該部分の予習と復習	60
15	テーマ:外部環境からの防御 皮膚の構造と機能、体温調節	講義	当該部分の予習と復習	60
16	テーマ:生殖・発生と老化のしくみ(1) 男性生殖器/女性生殖器	講義	当該部分の予習と復習	60
17	テーマ:生殖・発生と老化のしくみ(2) 女性の生殖機能	講義	当該部分の予習と復習	60
18	テーマ:生殖・発生と老化のしくみ(3) 受精と胎児の発生	講義	当該部分の予習と復習	60
19	テーマ:生殖・発生と老化のしくみ(4) 成長と老化	講義	当該部分の予習と復習	60

20	テーマ:解剖実習見学前 講義	講義	当該部分の予習と復習	60
21	テーマ:解剖実習見学(1)	実習見学	当該部分の予習と復習	60
22	テーマ:解剖実習見学(2)	実習見学	当該部分の予習と復習	60
23	テーマ:解剖実習見学(3)	実習見学	当該部分の予習と復習	60
24	テーマ:解剖実習見学(4)	実習見学	当該部分の予習と復習	60
25	解剖学実習の振り返りとまとめ	講義	当該部分の予習と復習	60
26	後期学習内容の復習講義	講義	当該部分の予習と復習	60
27	後期学習の復習と知識定着の確認	講義	当該部分の予習と復習	60
28	テーマ:生と死について考える 命の始まりと終わりについて	講義	当該部分の予習と復習	30
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	解剖生理学は、範囲が広く、内容も多岐にわたりますが、今後、疾患や治療、ケアの実践について学ぶ際の基盤となる知識です。体系的な教科書の内容と併せて、自分自身の生活や身体を通して多面的に理解を深めることが大切です。			
テキスト	教科書:系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① 医学書院 必要に応じてプリント配布			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義の中で適宜 紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	前期と同様に、講義後に講義内容について教科書及び参考資料などをもとに復習してください。次回の講義で小テストを行います。前期に比べ内容がややイメージしにくい範囲もありますので、理解できなかったところは質問をするなど、その都度、整理をするように心がけてください。 また解剖学実習見学は、大変貴重な学びの機会となります。将来、人の命に関わる医療職に就く自覚を持ち、十分な予習をして臨んでください。意欲的な取り組みに期待しています。			
達成度評価に関するコメント	期末試験60%、小テスト20%、レポート20%で評価します。 レポート:解剖学実習見学に向けての予習レポートと、見学後の観察レポートの二つをまとめて評価します。			

